



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第4号 2020年10月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI 会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して2部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース 10月号へようこそ。様々な寄稿者の記事や最新的话题を通して、皆さまに情報をお伝えしていきたいと思えます。今号には、BF-ブラザーフード基金について、IHQからのニュース-「2022年に向けて」、「良い話を伝えよう」-クラブの活動(脱出部屋)そして、インドからのパンデミック時の支援の素晴らしい話を掲載しています。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

しかし、私たちは今日、より良い明日のために働き続けなければなりません。ジェイコブ国際会長の目標である99,400スイスフランを達成するために、私たちは、頻繁なコミュニケーションやオンライン会議によって地域会長の皆さんとの良好な協力関係を構築しようとしています。地域会長の支援によって、また、良いモニタリングの仕組みによって地域事業主任、区理事、区事業主任とも繋がっていくことでしょう。私たちは、クラブの献金を奨励し、献金をリアルタイムで記録するための計画も考案する必要があります。これは、BFプログラムを適切に運営し、前年度の貢献に基づいてクラブにタイムリーにBFの賞を授与するために必要です。

これまでBFプログラムに貢献してきたクラブは、これを継続するよう動機付けられなければなりません。また、これまで散発的にしか、あるいはほとんど貢献していなかったクラブには、YMIワールドや国際会長ニュースで会員に届くBF交流の成功例を数多く紹介することで、モチベーションを高めることができます。また、BFの歴史は、国境を越えての活動の宝庫であり、私たちの運動のモチベーションの源泉でもあります。

今、どのような助成金申請が受けられているのかを知ることができます。より良い未来のための計画です。

クラブからの寄付金がどのようにしてクラブに還元されるのか、BF旅行のためだけでなく、クラブ訪問、大会参加、研修会、エクステンションにも使えるお金として還元されています。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

ソンジャ・マーリー・ミュラー BF 国際事業主任



強調月間 -ブラザーフード基金(BF)

ブラザーフード基金(BF)担当の国際事業主任として、国際協会の8つの地域のためのBFの重要性を指摘させていただきます。10月は、BFの強調月間ですが、年間・毎日を通しての取り組みです。



基金は、その全てがクラブ会員からの寄付金に依っています。文化や地理の異なる人々の間で、私たちが目指す、より良い世界に向けての理解を深めることを目的としています。

BFは、クラブ会員の自宅を訪問する機会を提供し、BF代表に自宅を開放することで、彼らの世界を受け入れる機会を提供しています。

新型コロナウイルスは、世界を変えました。すべてのBF代表の旅行計画は、パンデミックが進むにつれて修正され、キャンセルまたは2021年まで延期となりました。

IHQニュース

＜私たちの力を結束して、2022年の目標に挑戦しましょう＞

2022年まであと2年です！2008年からワイズメンズクラブ国際協会が夢見てきた歴史的な節目です！

8年前に策定された「2022年に向けて」の目標において、私たちには共通の目的が与えられました。その前に制定されていた「ビジョン 2022」を実現するための鍵となるいくつかの目標が示され、広められました。

1. ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) を世界 100 カ国で、少なくとも 5 万人の会員に拡大する。
2. 世界レベルで YMI の強化を図る。
 - YMCA と地域社会に関連したサービスを提供する。
 - 社会的イメージを向上させる。
 - YMI とその使命に対する会員の認識を向上させる。

そして今、私たちは、重大な岐路に立たされています。もし、ここで間違った道を選択すれば、10年近く前に設定された 2022 年の目標を達成する望みをすべて失ってしまいます。ありがたいことに、夢は、まだ色あせていません。私たちの指導者とクラブの会員は、進歩的で、意義が深く、成長している国際的な奉仕運動の一員になることを今でも熱望しています。灰の下には火があり、それがワイズメン精神です。そして、この火は、一度再点火されると、私たちを変容させる力を持っています。

アメリカの歴史家であり、作家であり、社会主義思想家であるハワード・ジンは、かつて、「小さな行為が何百万人もの人々によって掛け合わされたとき、世界を変えることができる」と言いました。

[チャレンジ 22](#) は、YMI クラブのすべての会員が世界を変え、私たちの国際運動の共通の利益と未来のために団結して活動する機会です。そして、すべての会員、リーダー、組織は、このチャレンジに参加することが期待されています。

以下に要約されるように、7 つの、相互に関連した課題があります。

1. 一貫したコミュニケーションと「良い話」(Good Story) を語ることで、私たちの運動に対する好意的な見方を醸成します。

2. ブランドの明確性: 視覚的なプレゼンテーションを通じて、私たちの核となるアイデンティティを構築、推進します。

3. 遺産と集団的インパクト。遺産プロジェクトを通じて、創立者に敬意を表し、過去の実績を基に、耐久性のある未来のためにプロジェクトを推進します。

4. YMCA との関係強化。YMCA との歴史的、基本的なパートナーシップを強化し、提携を祝い、より密接な関係を構築することで、相互の成長を促し、両組織の使命のインパクトを向上させます。

5. 世界の YMCA と既存クラブの支援により、新たに 35 カ国を加え、100 カ国を目指します。

6. 3,000 クラブ。すべてのクラブが新しいクラブをスポンサーすることに挑戦することによって、3,000 クラブを達成します。

7. 私たちの運動に新しいクラブメンバーをもたらし、すべてのメンバーが 50,000 名の会員に向けて挑戦します。

[チャレンジ 22 の説明、パワーポイント\(日本語\)](#)

新しいクラブのコンセプト「グローバルクラブ」

「グローバルクラブ」とは、地元の「ローカル会員」と地元以外の「遠隔会員」の両方を持つクラブのことです。

ローカル会員は、管理・運営上の目的のために、同じ区に少なくとも 5 人の会員が所属しなければなりません。時間に追われている人、クラブとの地理的距離の制約がある人、移動手段が限られている人たちのために、バーチャルな会員身分を持つ新クラブを結成することは、とても良い選択肢となります。グローバルクラブの候補者としては、転居した元クラブ会員のほか、世界中のどこかに住んでいる友人、家族、同僚などが挙げられます。

これらの新会員は、バーチャルなつながりを持つことで、クラブの生活、親睦、地域社会への奉仕に新たな一面を加えることとなります。クラブは、地元に住む会員の物理的な例会を維持しつつ、包括的なバーチャル会合を頻繁に開くよう奨励されています。グローバルクラブの目的は、これまでの伝統的なクラブと同じであり、活動も同様に、会員の関心、リソース、地域社会のニーズ(地元または世界のどちらでも)に基づいて行われます。

「遠隔会員」は、可能な限り物理的に参加し、対面での活動を行う機会を与えられるものとします。



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



資金調達と視認性

2014年、私たちは、デンマークのユトランド州西部にあるランデネス・ワイズメンズクラブをスタートさせました。30キロ内に4クラブが存在するワイズの伝統が非常に強い地域でのスタートでした。他のクラブは、多種多様なプロジェクトやチャリティープログラムを行っていました。中古品店、リング狩り、ガラスアートなどなど。そこで私たちは、何か別のものを考えなければなりません。私たちは、34人のメンバーで構成されていますが、地元のお店と協力してファッションショーを行ったり、カボチャを販売したり、パーティーに協力したり、中古品店の一部を使ったりしていましたが、そして、ついに「脱出部屋」(脱出ゲーム)を始めたのです。ここでは、それがどのようなものかをご紹介します。

私たちの内の何人かは、世界中のいくつかの「脱出部屋」を経験していましたし、人は、謎を解くのが大好きなので、自分たち自身の「脱出部屋」を構築することを他のメンバーにも納得させました。初めて「脱出部屋」という言葉を聞く皆さんのためにですが、「脱出部屋」は、あなたが何かを見つけるために、または、部屋から出るために謎を解決しなければならない、リアルのアドベンチャーゲームです。提供者によっては怖い部屋を作っているところもありますが、私たちの部屋は、怖くもなく、暗くもなく、閉所恐怖症のおそれもなく、ただ謎を解くだけの部屋です。クラブのメンバーが時間と労力をかけて部屋や謎解きの準備をしてくれて、今では多くの客が部屋を訪れるようになりました。収入が得られるようになり、また、ワイズメン運動や私たちのクラブを人々に伝える機会にもなっています。頭脳とチームビルディングのスキルに挑戦するのが好きな方は、「脱出部屋」を探してみることをお勧めします。世界中のほとんどの主要都市にあり、とても楽しいですよ。

ランデネス・ワイズメンズクラブ コニー・モエラー

<脱出部屋のアイデア>



年老いた画家が屋根裏部屋にアトリエを持っています。彼は素晴らしい人ですが、最近、奇妙な行動をとっています。最近の旅行で貴重な絵を盗んだことが判明

しました。絵を破壊しようとも言っています。これでは、世界の損失になってしまいます。彼は、絵を部屋のどこかに隠し、鍵やナゾナゾで保護しています。どうか、絵を探し出して、持ち主に返すのを手伝ってください。

Tell a good story.



パンデミック被災者の支援

マディワラ・ワイズメンズクラブ(インド・バンガロール)は2008年に設立され、当初から世界をより良い場所にするために一歩ずつ社会に貢献してきました。このような不確実な時代に、私たちは、新型コロナウイルス感染者だけでなく、パンデミックの影響をさまざまな面で受けた人々にも手を

差し伸べてきました。2014/15年、私たちは、「ライスバンク」と呼ばれるプロジェクトを開始し、経済



れ、経済的に困窮している20家族に米を配っていました。クラブのメンバーの中には、バンガロールの新型コロナウイルス感染症のヘルプデ

スクに参加していた人もいましたので、そのアドバイスによって、このプロジェクトを「食料品キット」に発展させました。キットには米、豆料理、玉ねぎ、ジャガイモ、油、塩、石鹼等700インドルピー相当

の物が含まれ、1ヶ月間に最低100個のキット、2020年3月から9月までに約650個のキットを配布しました。これらのキットの受益者は、市や



州の外からやってきた労働者でした。また、私たちは、ジョン牧師夫妻が運営する「ディバインマーシー」という孤児院を支援し、25人の子供たちに米やその他の食料品を提供しました。もうひとつのプロジェクトは、「衣類バンク」です。衣類をほとんど、



あるいは全く持っていない労働者のために、男性、女性、子供用の約1,600セットの衣類を、検疫センターを通じて配布しました。医療援助もク

ラブから提供されました。また、自宅から離れて、街で立ち往生している人々のために、クラブの会員が自らのビジネスを奉仕に変えようと、ボランティアでホテルを手配しました。

トーマス・J・ビジュ

マディワラ・ワイズメンズクラブ チャーター会長